

口蹄疫、その後――



今年4月、宮崎県で発生した口蹄疫は九州内の畜産業に大きな打撃を与えました。宮崎県内での殺処分頭数は、28万8,643頭。損失総額は約1,400億円にも上ると言われます。熊本県や大分県などの近隣県でも防疫体制の強化など対応策を講じました。

大津町でも町の各種施設の入入り口で消毒を行ったり、各種イベントの自粛や中止を行ったりして大津町での感染を防ぎました。

7月になると非常事態宣言が一部解除され、市場も再開しました。そして8月27日に東国原宮崎県知事が終息宣言を発表。畜産農家には永遠とも思えた時間がとりあえず一段落したのです。

わたしたちは、生きていくためには食べるのをやめることはできません。わたしたちの食のために畜産農家の皆さんは、日々努力を続けています。

今回は口蹄疫の影響を受けながらも畜産を続けた人たちの思いにクローズアップしてみます。



からいもフェスティバルinおおづ

掘って重いで
おも
ほおぼって思い出



「からいもフェスティバル」(主催：「からいもフェスティバル実行委員会」明日の観光大津を創る会)が11月14日、本田技研工業(株)熊本製作所内総合グラウンドで開催されました。当日は、晴天にも恵まれ、多くの家族連れがからいもフェスティバルを楽しみました。

毎年恒例の「からいも掘り大会」では受付開始前から長い行列ができ、多くの家族や友だちと一緒に楽しみながら、大きく育ったからいもを掘りあげていました。

会場ステージでは多くのショーが行われました。スペシャルイベントとしてDOYO組のコンサートも行われ、素晴らしい歌声に観客もつとり。ステージを盛り上げました。コンテストも多く行われました。美味しいからいもをたくさん使った「からいも料理コンテスト」ではアイデア満載の料理やお菓子が並び、入賞者の表彰も行われました。「からいも館」ではからいもをテーマにした「絵手紙コンテスト」も開催され、からいもにまつわる作品が会場に集まりました。

多くの人が参加し、多くの人の笑顔が見られた22回目のフェスティバル、今年も大盛況に終わりました。

コンテストの受賞者

からいも料理コンテスト			
部門	賞	作品名	氏名
料理部門	グランプリ	おさつのピーナッツ和え	高村 恵美
菓子部門	グランプリ	ベジタブルロールケーキ	吉野あかね

絵手紙コンテスト		珍からいもコンテスト	
部門	賞	氏名	氏名
一般の部	絵手紙大賞	高木 智子	なかなか届きません
小中学生の部		春日 紀子	太ったあざらし君

1.「届かない〜」珍しい形ですね
2.野菜いっぱいのお菓子
3.おかずになるようにご飯との相性も抜群

